

地域金融機関様

年金推進プログラム

地域金融機関におけるリテール戦略として

研修カリキュラム

原社会保険労務士事務所

研修目的

- ・ 地域金融機関にとって収益環境が厳しさを増す中、一層の「地域密着型金融の推進」をコアに収益管理体制の強化が叫ばれていることを再確認し、リテール戦略の中心的役割を果たす年金相談業務のスキルを高め、真に感謝され、地域に根ざした“信頼される人間関係構築”を目指す。
- ・ 地域貢献活動の一つとして、社会問題化している年金の相談業務に積極的に取り組み、地域の方々に細かな情報提供を行うことで、年金受取口座を増加させ、流動性リスクの軽減を図り、安定的な収益体制を構築する。

年金研修による スキルアップ効果とは

- 渉外戦略の効率化
- 基盤の拡大
- 他行奪取
- 取引のメイン化
- 平残アップ(流動性リスクの軽減)

年金研修カリキュラム

1. 公的年金の基礎知識
2. 年金制度の歴史
3. 公的年金のポイント
4. 多様化する年金制度のひずみから生まれる年金漏れの問題
厚生年金保険、国民年金、共済といった複数制度加入者の
加入期間脱落
厚生年金基金の請求漏れ(短期給付＝企業年金連合会)
5. 社会問題化している年金問題
年金記録の回復とは(年金時効特例法・厚生年金特例法)
具体的事例
第三者委員会の基本的考え
6. 年金推進方法
お客様への情報提供(ターゲット年齢者)
年金相談や年金請求書の作成について

年金研修カリキュラム

- ・ 公的年金の基礎知識
金融機関の職員として知っておくべき、公的年金の基礎知識を実務と絡めて説明します。また、自分たちの加入している年金制度など、何人かの受講者の年金履歴を元に具体的な進め方をいたします。
- ・ 年金制度の歴史
国民年金や被用者年金の歴史的な背景を探り、現在の年金制度の問題など、顧客と対等な立場で話ができるスキルを身につけます。
- ・ 公的年金のポイント
年金に関する法律の知識についてポイントを押さえて解説するとともに、年金をめぐる最新情報を提供いたします。
また、在職老齢年金、雇用保険との調整、厚生年金の分割、遺族厚生年金等について分かりやすく説明いたします。

年金研修カリキュラム

- ・ 多様化する年金制度のひずみから生まれる年金記録の漏れの問題
現在の受給者を考えれば、従前、金融機関において推進した戦時中のもらい忘れ年金などは、現在の受給者にはマッチしておらず、今、最も問題となっている厚生年金基金の請求漏れや、他制度との加入履歴が生む年金請求漏れについて、分かりやすく説明いたします。
また、確定拠出年金や確定給付企業年金についても、その概略について説明をすることにより、現在の多様化した年金体系を学習します。

年金研修カリキュラム

- ・ 社会問題化している年金問題

年金記録問題は、大きな社会問題となっているばかりでなく、その内容は複雑なケースが多く、厚生年金保険では、社会保険事務所(当時)の主導で行われた標準報酬や資格喪失日の不適切な遡及訂正処理、原因は定かではないが資格取得日が相違しているケース、一つの会社に勤務していたはずが履歴が中抜けになっているケース、同僚の厚生年金の記録はあるのに自分は、勤務していたはずの会社の全部の記録がないケース、また国民年金では不自然な短期間の未納(当時、納付サイクルが3か月毎なのにその1月だけが未納等)、夫婦で過去に遡って特例納付をしたはずだが、妻のみ未納等、その形態は様々です。

研修では、こういった具体的事例を提示し、その年金履歴の確認方法や第三者委員会への申立方法、さらにどういう場合に履歴訂正による救済が可能なのかを分かりやすく説明いたします。

年金研修カリキュラム

- ・ 年金推進方法

年金推進で欠かせない、裁定請求書の書き方や必要書類、年金の請求のポイント(繰上げ、繰下げ支給の効果)60歳以降の働き方や雇用保険(在職老齢年金と雇用保険等調整等・高年齢雇用継続給付の内容)、健康保険などのお客様アドバイザーとしての基礎知識を習得をします。

また、お客様への説明に必要なWMデータ(年金機構のオンライン記録)の見方なども併せてご説明いたします。

※ 年金推進担当や年金レディなど専門職の職員養成については別のカリキュラムを作成いたしますので、ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

※ 社会問題化している年金記録問題にスポットを当てての研修や講演等もお受けいたします。ご遠慮なくお問い合わせ下さい。

お問い合わせ先

お問い合わせは、Eメール、またはFaxにてお願いいたします。

Eメール: hara-sr@jcom.home.ne.jp

Fax: 042-855-5501

神奈川県相模原市中央区田名3176-2

原社会保険労務士事務所

特定社会保険労務士 原孝則

TEL & Fax 042-855-5501

ホームページ: <http://members2.jcom.home.ne.jp/hara-sr/>